

平成30年度とくしまの魅力発信地産地消推進事業

事業者：JA阿波郡東部 農産物直売所 JA夢市場

連携団体：野菜ソムリエコミュニティ阿波

「農業立市を目指した活動により、地元野菜の消費拡大につなげたい」

阿波市は農業産出額が県内1位であり、農業立市を目指している。JA夢市場には約200人の会員が登録されており、現在、エコファーマー取得に向けて取り組み、自然にも人間にも優しい野菜作りを目指している。

そこで地元野菜のPRを目的とし、地元野菜を使った料理を提案、食してもらうことで県産農産物及び地域の魅力を発信する。

取組の内容

○旬野菜の試食会

7月～3月まで月1回、JA夢市場店内でキュウリや里芋など旬野菜の試食会を開催した。自宅でも調理していただけるようにレシピもあわせて配布した。



旬野菜の試食会



食材の紹介

○キッズ野菜ソムリエによる販売体験

2月9日にJA夢市場店内で阿波市産イチゴの販売体験とイチゴを使ったホットケーキのふるまいを実施した。



エコファーマーの紹介



試食会でのレシピ配布

○エコファーマー・エシカル消費の知名度向上の取組

店内の対象商品にエコファーマーのシールを貼り、エシカル農産物のPRを行った。また、ポップの設置やパンフレットの配布により、エシカル消費を啓発した。

参加者の感想

レシピがあり、とても参考になった。早速家でも作ってみますと食材を購入する方もいた。食材のことが知れて勉強になった。このようなイベントは経験がなかったのでよかったという声もいただいた。

一方で、メニューに工夫がほしい、子どもたちや高齢者にとってはもう少し柔らかい方が食べやすいのでは？という意見を聞くことができた。

試食会参加者に実施したアンケートの結果、参加者の約半分が徳島県や阿波市の特産物についてある程度知っていた。一方、エシカル消費については4割近くの方がほとんど知らないと回答した。

取組の成果

阿波市の農業に取り組む姿勢や旬の野菜のアピールができた。
エコファーマーについても消費者に興味をもってもらえることができ、生産者に対してのアピールにつながり新たにエコファーマーを取得する生産者が増えた。
阿波市の農業立市としての取組を参加者に理解していただけたと感じている。

今後の展望

今後、試食会を継続して行い、品数を増やしたりレシピを工夫していきたい。
エコファーマーやエシカルについてももっと知ってもらえるようにPRコーナー等を設け、消費者にわかりやすく魅力ある売り場づくりをしたい。
地元の野菜を買うことにより、農家の方の収入につながる地産地消の意義を消費者の方に理解していただけるように、農業立市の直売所の立場としてさらなる活動をしていきたい。